

⑤

気象・海洋・陸面予測を革新する 高頻度衛星観測システムの設計事前評価プラットフォーム 代表提案者：三好建正

■ ミッションの概要

科学的・技術的特徴・新規性：

- － 理研を中心に開発が進んでいる大気データ同化システム(NICAM-LETKF、SCALE-LETKF)を用いて、将来の衛星観測が天気予報に与える影響の定量評価を行う。

■ 準備状況

Readiness：

- － 全球・領域大気データ同化システムをスーパーコンピュータ「富岳」に実装済み

技術的課題＝試作の必要性：

- － 各種衛星観測データをなるべく簡便に同化する実験システム

要検討事項：

- － 誰がユーザーとなりうるのか、またユーザーの要望は何か、把握し理解して、当該プラットフォームの価値や重要性を検討。これにより、より利用効果の高いシステム設計につなげる。